

5-1 石川県における里山里海を中心とした地域活性化の取組事例

- 石川県による「いしかわ里山創成ファンド事業」や金沢大学による「里山マイスター育成」など、経済や産業、人材育成の側面から、里山里海を活用維持する取組への支援が行われている。

1. 県による取組

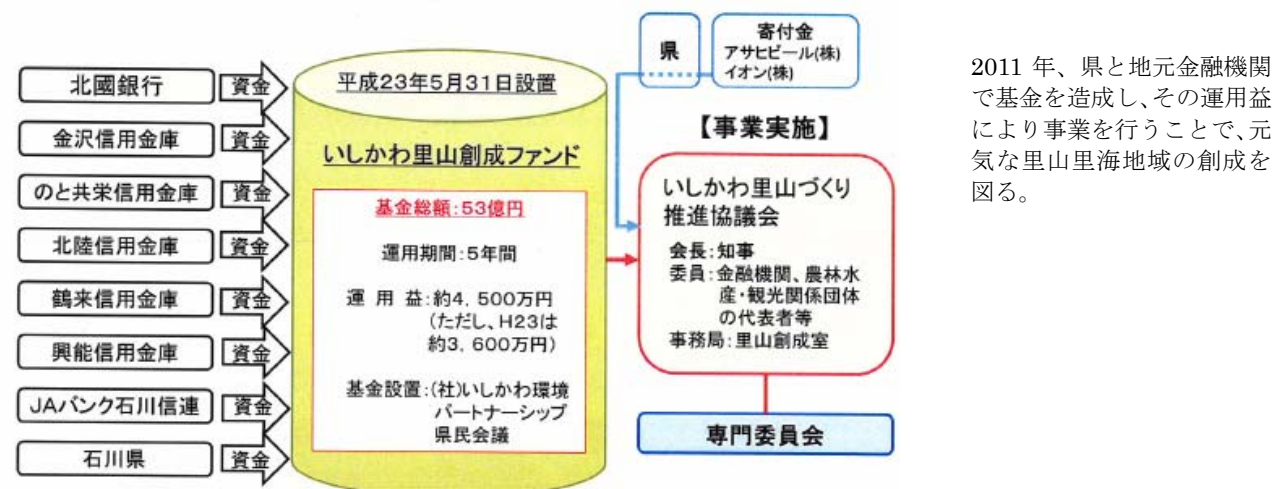
「里山創成室」を中心とした里山里海の保全活用促進の取組

石川県は2011年4月より、新たな部署として環境部内に里山創成室を設立し、里山里海に関する施策の総合的な企画及び調整に関すること、ならびに里山里海の利用保全に関することを進めている。

■里山創成室の施策体系・主要施策 <石川県生物多様性戦略ビジョンの中期目標に対応>

- (1) 里山里海における新たな価値の創造（里山チャレンジ支援事業、里山里海ミュージアム創造支援事業 他）
- (2) 多様な主体の参画による新しい里山里海づくり（いしかわ版里山づくりISO推進事業、里山の森づくりボランティア推進事業 他）
- (3) 森・里・川・海の連環に配慮した生態系の保全
- (4) 多様な人材の育成・ネットワークの推進（新しい里山創造人材育成事業 他）
- (5) 積極的な種の保存と適切な野生生物の保護管理
- (6) 生物多様性の恵みに対する理解の浸透（里山里海スーパースクール推進事業、いしかわグリーンウェイブ2011 他）
- (7) 国際的な情報の共有と発信

いしかわ里山創成ファンド事業



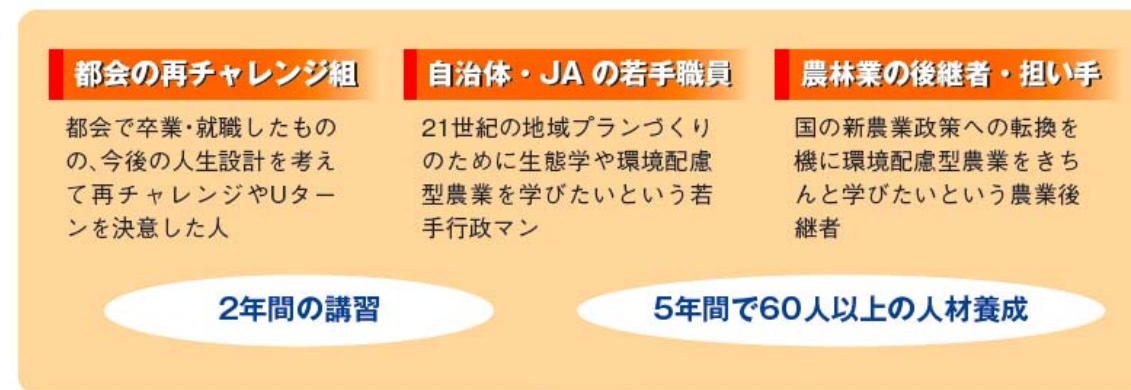
■公募事業

- 1 里山里海の資源を活用した生業（なりわい）創出の支援
特産品づくり、商品施策、モデルツアー 等
- 2 里山里海地域の振興（1）里山里海を元気にするイベント支援
地域住民が主体となる団体等への支援
- 2（2）里山の資源循環モデルの構築による地域起こし
CO2削減モデル（マイクロ水力、光エネルギー等）、資源循環（竹材の活用等）
- 2（3）里山景観の創造
地域住民のコンセンサス形成、景観保全再生（黒瓦への葺き替え、周囲に馴染む板張りの張り替え）

2. 金沢大学などによる人材育成の取組

「里山マイスター」養成プログラムの取組

金沢大学では、奥能登地域において地域の活性化を目指し、環境に配慮した農業の担い手など地域活性化を担うリーダーを育成する「能登里山マイスター養成プログラム」を2007年から始めている。養成対象は社会人で、2年間のカリキュラムで講義と実習を通して、環境配慮型農業や農産物に付加価値を付けるノウハウ等について学ぶ。2012年3月までに60人以上の里山マイスターを養成することになっている。



・「里山マイスター」称号授与
・新技術（農業・ビジネス）を得て独立（新規就農・起業）の道

3つの要素を備えた人材を養成

環境配慮と生産技術に工夫を凝らす篤農人材
生物多様性など環境配慮と同時に生産技術に工夫を凝らす

農産物に付加価値をつけるビジネス人材
「作る」「採る」だけでなく消費者のニーズを取り入れ、二次（加工）、三次（サービス）の付加価値をつける

地域と連携し新事業を創造するリーダー人材
観光産業や食品産業、林業、水産業との連携により、地域ぐるみで新事業を創造する

「里山マイスター」として自立

講座修了後に就農計画または修了論文を提出

金沢大学の支援

修了後に「里山マイスター」の称号を授与し、就農後も共同研究や情報提供を行います。

石川県の支援

「認定就農者」として知事認定されれば、就農支援資金（40歳未満、3,700万円限度・無利子）の融資があります。

地域自治体（輪島市・珠洲市・穴水町・能登町）の支援

各自治体の定住化促進策にもとづき、空き家や農地を斡旋します。